

2025年度 文化交渉学ワークショップ 「文化としての論争」

神戸大学大学院人文学研究科
文化交渉学研究プロジェクト

日時：2025年9月24日（水）13時～オンライン
25日（木）13時～対面

場所：人文学研究科 B132

24日（オンライン）：パネル報告

・境界を越える／境界を生きる

——日中における移動と社会適応の生活史

代表・司会：沈思遠（社会学）

25日（対面）：個人報告

・瀬古知世（芸術学）

『ドライブ・マイ・カー』における音の物語について

・片岡恵梨（芸術学）

ライブニッツと哲学論争

・周馨驥（社会学）

「選択的シングルマザー」における結婚の意味づけ

——なぜ彼女たちは結婚しないのか

・田村豪（社会学）

ジンメルと第1回ドイツ社会学会

参加希望者は右のURLから登録してください。
9月16日（火）までに登録をお願いします。



2025年度文化交渉学ワークショップ

- ・ 24日（オンライン）パネル報告
- 13:00～ワークショップ概要・パネルテーマ紹介
- 13:15～報告①・②
- 14:30～報告③・④・⑤
- 17:00～質疑応答

トピック：文化交渉学ワークショップ

時刻：2025年9月24日 12:45 PM

ミーティング ID: 514 461 6835

パスコード：135096

Zoom のURLはこちらから→



① 周玉琴（東北大学大学院情報科学研究科）

村人になる

——日本農山村における移住者の生活及び地域とのつながり

② 張曼青（京都大学フィールド科学教育研究センター）

日本の中山間地域における移住者による農業継承の現状と課題

③ 余楽（お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科）

現代中国における第一世代農民工のライフコースと現状

——都市-農村を越える移動と帰郷の経験を中心に

④ 沈思遠（神戸大学大学院人文学研究科）

都市定住か農村帰住か

——中国農村出身女性家事労働者の老後定住選択

⑤ 劉琛瑜（一橋大学大学院社会学研究科）

脱ジェンダー化の時代を生きた女性たちは、なぜ性別選好を捨てなかったのか？

——毛沢東時代に成長した農村女性の息子・娘価値認識と性別選好」

2025年度文化交渉学ワークショップ

・ 25日（対面）個人報告

-13:00～報告①

-13:55～報告②

-14:50～報告③

-15:45～報告④

-16:40～ワークショップ総括

-17:30～懇親会（六甲周辺）

① 瀬古知世（芸術学）

『ドライブ・マイ・カー』における音の物語について

② 片岡恵梨（芸術学）

ライブニッツと哲学論争

③ 周馨驥（社会学）

「選択的シングルマザー」における結婚の意味づけ

——なぜ彼女たちは結婚しないのか

④ 田村豪（社会学）

ジンメルと第1回ドイツ社会学会